

# 記入見本

別紙様式第4号

## 環境と調和のとれた農業生産活動規範 点検シート (家畜の飼養・生産)

### 【点検の方法】

- ① 毎年、各項目について、過去一年間の実行状況を点検します。
- ② 点検は、農業経営全体の状況について行う必要はありません。
- ③ 点検は、次ページの「取組(例)」を参考に、欄内に、○印又は✓を記入する場合には、チェック欄にレ印か○印を付します。
- ④ 該当がない項目や実行できない項目がある場合は、必ず、その項目ごとに下欄にその理由、改善の予定などを記入します。
- ⑤ 作成した点検シートは、次回の点検まで保存します。

	チェック欄
<b>1 家畜排せつ物の遵守</b> 家畜排せつ物の管理の適正化による大気、水等の環境保全や、家畜排せつ物の利用の促進による環境型社会形成への貢献を通じ、健全な畜産業の発展に資することを目的として、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（家畜排せつ物法）を遵守する。	<input type="checkbox"/>
<b>2 悪臭・害虫の発生を防止・低減する取組の励行</b> 家畜の飼養・生産に伴う悪臭、害虫の発生は、主として畜舎における家畜の飼養過程や家畜排せつ物の処理・保管過程に起因し、畜産経営への苦情発生要因の中の多くを占めることから、その防止・低減に資するため、畜舎からのふん尿の早期搬出や施設内外の清掃など、家畜の飼養・生産に伴う悪臭、害虫の発生を防止・低減する取組を励行する。	<input type="checkbox"/>
<b>3 家畜排せつ物の利活用の推進</b> 循環型社会の形成や農業の自然循環機能の促進に資するため、家畜排せつ物のたい肥化、液肥化またはスラリー処理等を行い、作物生産等への利用の推進に努める。ただし、作物生産等への利用が困難な場合又はより適切な処理・利用方法がある場合には、炭化、焼却、汚水浄化、委託処分等の適切な方法による処理等に努める。また、地域的条件等に応じ可能な場合についてはメタン発酵等によるエネルギー利用に努める。	<input type="checkbox"/>
<b>4 環境関連法令への適切な対応</b> 環境型社会の形成や大気、水等の環境の保全に資するため、使用済みプラスチック等の廃棄物、臭気及び排水等の経営体外への排出等に際して、関連する環境法令に応じた処分等に努めるなど適切に対応する。	<input type="checkbox"/>
<b>5 エネルギーの節減</b> 温室効果ガスである二酸化炭素の排出抑制や資源の有効利用等に資するため、畜舎内の照明、温度管理など施設・機械等の使用や導入に際して、不必要・非効率的なエネルギー消費がないよう努める。	<input type="checkbox"/>
<b>6 新たな知見・情報の収集</b> 環境との調和を図るため、家畜の飼養・生産に伴う環境影響などに関する新たな知見と適切な対処に必要な情報の収集に努める。	<input type="checkbox"/>

【該当がない項目、実行できない項目がある場合等の理由、改善の予定など(記入欄)】

例【6 新たな知見・情報の収集】を、該当がない項目、実行できない項目とした場合→当項目について、実行できない理由や改善予定などをご記入下さい

責任者(点検者)の方が、点検日の記入、署名・捺印をお願いします

点検日 年 月 日  
点検者(経営者) 印